

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立伊予農業高等学校

評 価 実 施 日		令和6年2月13日（火）	
委 員	氏 名	所 属 等	備 考
	岡部 悦雄	伊予商工会議所	
	高橋 宏文	栄養寺住職・伊予ロータリークラブ	
	徳本 典久	伊予市教育委員会 社会教育指導員	
	篠崎 秀紀	株式会社愛商 代表取締役社長	
	中川 敦史	県中予地方局産業振興課 地域農業育成室長	
	喜安 光男	松前町社会福祉協議会長	
	久保 雄	伊予市立港南中学校校長	
	小田 清隆	元愛媛大学社会共創学部 准教授	
	甲斐由香理	PTA役員	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <p>アンケート結果から、生徒や保護者からは授業内容に満足している様子が窺われますが、反面、先生方にとってはいま一つ手ごたえがないのかなという感じがするの、数字から見て取れます。成績よりも、学ぶことの楽しさを感じてもらえる授業を今後も作ってくださるようお願いしたい。</p> <p>タブレットなどICT機器を活用したアクティブ・ラーニングの推進や先生方の授業改善に取り組んでいる姿勢が数値にも表れていると思う。今後も継続した指導をお願いしたい。</p> <p>先生方が一人一人に寄り添い、褒めて伸ばす指導を丁寧に実践されていることが、生徒たちの学習意欲や成果につながっていると思う。意欲が継続される指導を今後もお願いします。</p> <p>(2) 生徒指導、人権教育</p> <p>傍らから見るだけでは、生徒たちは楽しい高校生活を謳歌しているように見受けられ、言うことはありません。アンケートでは、「校則の見直し」希望する意見も複数あるようです。具体的な内容はわかりませんが、風紀に関する事なら、今の生徒たちの自主性と感性を信頼してもいいのではないかと思います。</p> <p>交通事故の発生件数が18件と多くなっていることが気になります。命に関わる事なので被害、加害のどちらにもならないよう、ゆとりのある、マナーのよい登下校に向けた継続したご指導をお願いします。</p> <p>いじめ問題に関して「いじめはない」と感じる生徒の割合が減少しているのが気になる。学校全体で解決に向けて取り組んでもらいた。様々な人権問題に対し自分事として考えられる(いじめを含め)正しい人権感覚と行動力を身に付けてもらいたい。</p>	<p>今後も、教える側としては高い到達目標を維持しながら、ICT機器の活用やアクティブ・ラーニングの推進など、より良い授業づくりを継続し、本校の生徒にとって分かりやすい授業の実践に努めたい。</p> <p>また、生徒一人一人に寄り添い、個に応じた指導を継続し、取り残さない指導も続けていきたい。</p> <p>「分かる」「できる」といった成功体験を重ねさせて、学習意欲の向上につながる指導ができるよう努めたい。</p> <p>令和6年度に「身だしなみ規定」を変更し、さらに生徒の意見、保護者の意見を聞きながら見直しをしたいと思います。制服についても男女の性差の無いような制服への移行を検討しています。</p> <p>安全走行をしていれば大半の事故は防げると考えています。マナーの悪い並進やスマホを操作しながらやイヤホンをしたままの運転、ヘルメットなしの運転などを今後注意していきたいと考えます。伊予警察署と協力しながら、マナーアップ教室を実施するなど、命にかかわるような大きな事故にならないようにしていきたいと思います。</p> <p>HR活動はもとより、授業、実習、部活動等すべての教育活動の場が人権教育の場であるという認識に基づき、生徒の言動を注視し「その時その場ですぐ指導」を積み重ねる。また、人権委員会の活動活性化等により、生徒自らが行動できる実践力を育成する。</p>

(3) 進路指導

第1希望校・職種への進路を90%以上実現されており、指導者、生徒が努力されていることを感じる。さらに、向上をできるよう尽力を願いたい。また、関連分野への進路も、目標を達成されており、今後も期待したい。

主に就職者の追跡調査はなされているのでしょうか。卒業して終わりではなく、後輩の生徒たちの進路指導のためにも、是非とも実施して実績として残しておくべきだと思います。

本人はもとより、保護者も納得できる進路実現は今後の入学希望者の増加につながる。

第1希望への進学・就職ともに進路決定がほぼ達成されていることは、一人一人を大切にしたい進路指導を実践されている結果だと思います。日頃からの進路指導の充実や資格取得を是非継続してほしい。

(4) 特別活動

高校総体や各種コンテストでの活躍が伝えられ、とても頼もしく思います。

運動部、特にライフル射撃部の活躍はめざましい。

運動部や文化系でも活躍されており、活力のある学校になっていると思います。新聞等に掲載されているものも含め、伊予農生の活躍が素晴らしい。今後もアピールをお願いしたい。

TV・新聞でも拝見しますが輝かしい成績です。今後も期待しています。

(5) 農業教育

農業の担い手が不足する現状、農業教育の根幹にある高校においても、学ぶ生徒の家庭環境も大きく変化しているところ、農業の魅力を伝える第1歩となる教育機会として、是非次代の担い手育成につながるものと信じて、取り組んでいただきたい。

技能コンテストでの好成績が、教育の充実ぶりを示しているのだと思います。より上を目指してほしいと思います。

農業クラブ活動の成果にめざましいものがある。その成果が新聞等に掲載されており、地域の人は良い評価をしている。

生産と流通を学べることが強みです。出身中学校への生産物の販売は毎回楽しみにしているので、今後も継続をお願いします。

農業クラブの「入賞を目標に」それも大事ですが、生徒がそれに向かって一生懸命に取り組む事も大切だと思います。資格取得状況が年々受検者も合格者も減少傾向なのは残念です。

(6) 教育活動全般

いい環境でいい生徒たちが育まれていると拝見いたします。この学校の卒業生であることを誇りに思える学校づくりを今後も推進して下さることを切に願っております。

ホームページが見やすく、情報が分かりやすくてよいという意見もあり、アクセス数も以前より増えているようである。生徒の主体的活動やアピールする点を広く知らせることは大切だと思う。

命を守る教育やマナー、ルールに関する指導は今後力を入れて欲しい。

ホームページが定期的に更新され、見やすく魅力あるホームページ作成が推進されています。今後も継続的な情報発信をお願いします。何より保護者や生徒が見たい、知りたい情報を発信するツールとなることを望みます。

就職者の追跡調査は、卒業後3年間に渡り実施している。追跡調査の旨を書面で送付し、アンケート形式にして状況調査をしているが、QRコードを用いて手間なく回答できるように工夫もしている。得られた情報は次年度以降の就職指導に役立てている。

保護者の希望に関しては、進学させることを敬遠する傾向も一部にはあるため、中学生・保護者および中学校向けの説明会などの機会をとらえて、丁寧な説明などを心掛けたい。

本校生徒の保護者に対しては、懇談会の機会などに過年度卒業生の進路先に関するデータを提供している。特に、直接関わるクラス担任の丁寧な進路指導に繋がる運営を行いたい。

学校のホームページを活用して、生徒たちの活躍をお知らせしておりますが、多少特定の部活動等に偏っております。来年度は可能な限り、これまであまり情報を発信していなかった部活動等も大会成績ほか、大会参加報告を行い、より本校のアピールをしたいと考えています。

農業に魅力を持つ生徒が増加していると感じる。しかし農業を仕事にしようと考えた時に、考えが甘かった・浅かった、という生徒が存在するも事実である。しかし、将来の後継者や農業に従事する人材を増やすためには、魅力を伝え続ける以外に方法はないと考えており、その努力を続ける。

技能コンテスト、農業クラブ活動は学習内容を踏まえ、目標の設定も行いやすいため今後も成果を求めて活動させたい。

生産的な活動に取り組んでいる生物工学科・園芸流通科が、出身中学校への販売活動を行っている。可能な範囲で、他の学科の販売物もPRしたり、生徒募集につながる活動として展開したい。

資格の取得状況が低下している現状は感じている。教員の指導力不足が原因である。しかし、授業本来の目標もあるため、資格取得と授業のバランスを考え、今後も活動したい。

教育環境が生徒を育てることを意識して、教育環境を整え、本校に誇りを持って卒業する生徒の育成に努めたい。

生徒の活動を中心に、日々の学校の様子をできるだけ多く更新してきた成果である。今後も生徒を主体とした伊予農の良さがアピールできるホームページ作りに取り組むたい。

特別指導、交通事故が0になるよう、マナー、ルールに関する指導に継続的に取り組んでいきたい。

各学科が毎日更新を目標に、日々の学校の様子が分かる、生徒、保護者が見たい、知りたい情報発信に努めていきたい。